



お母さんの涙、ホームスクーラー OG の笑顔 — 東京会場にて

チア・コンベンション、恵みとあわれみ、励ましの中で開催

祝福の中で開催されたチア・コンベンションの報告です。東京・大阪両会場に、合わせて約700人の皆さんが、北海道から沖縄まで全国から集まってくださいました。3年半ぶりに全国の皆さんと時間を過ごせたことは祝福であり、喜びであり、楽しく、大変有意義でした。

この3年半の間にホームスクーリングをスタートされた方や関心を持たれた方が、大勢参加してくださいましたことも今回の特徴でした。「新しい若い家族が増えて、関心を強めておられる姿に励まされました」とのベテラン勢からのコメントも多かったです。

ティーンたちも久々の再会を喜びました。その

一人は「4年ぶりでも、キリストにある同じ空気、熱量が続いていて、すごい」と喜んでいました。うれしいことに、卒業生たちの姿もありました。「ティーンたちの面々がガラリと変わった。でも、楽しく盛り上がっている姿に勇気を得た」とのこと。「2代目ホームスクーラーです！」と赤ちゃん連れの参加や、ホームスクーラーママだったお母さんと一緒に3世代で参加している家族など、うれしい姿や出会いがたくさんありました。

基調講演者のヤング夫妻（8人の子どもたちをホームスクーリング）は、ティーンのホームスクーラーたちと接する軸について実践面から話してくださいました。

ご夫妻には6人の息子さんと2人の娘さんがいます。息子さんの1人は学習障害があり、高校レベルまで本が読めなかったものの克服したそうで



学習障害の子どもさんを含め、6人の子どもたちを、全額奨学金で大学に送り、キリストにあって実社会での活躍をサポートしてきたヤング夫妻

す。息子さんたちは全員、大学を全額奨学金で卒業し、今は大学助教授やジャーナリスト、農業の他、学習障害を克服した息子さんは不動産会社を起業しアパート経営を行っています。末の2人の姉妹は、1人は美術関係に進み、末の娘さんは、激しい頭痛や心臓病に苦しみながら美術作品で様々な賞を受賞しています。倒れて意識を失ってしまうことがよくあり、大学を目指せるかがヤング夫妻の懸念でしたが、最近そうした状況を察知して助ける能力を持った救助犬が与えられ、新たな志に向かっていきます。

ティーンの指導については、聖書にあってしつとけると共に、ティーンたちの話や気持ちに心を向けるよう強調されました。ティーンたちの自立心も尊重し、すべての障害を親が取り除こうとする「除雪車型」の親や、常にティーンの周りを旋回し続ける「ヘリコプター型」の親にならないようにと分かち合ってくれました。もちろん、ティ-

ンと親の関わりは重要で、上記の「たとえ」もバランスは必要ですが、考えさせられる点でした。

「ギフトド」と呼ばれる、神さまから特別な賜物・才能を与えられた子どもたちについては、その天性の才能を親や周囲が摘んでしまわないように留意点を語るなど、新しい分野の講演もありました。

チアの皆さんを愛してやまないジョイス・イノウエさんは7度目の来日講演となり、「学習障害」関連の講演をしてくださいました。最近注目されているニーズの高い分野でもあり、多くの皆さんが耳を傾けました。ジョイスさんは長くパーキンソン病と闘っていますが、担当医の診断によると、「普通は考えられない奇跡的に良好な状態」が保たれ、来日が許されました。

他にもたくさんの素晴らしい講師陣の基調講演、分科会が行われました。CD等に収録してありますので、ぜひ、ご利用ください（CD等、別紙申

込書で参照ください)。

私たちの未熟で至らない点多々あったかと思えます。それでも、神さまと皆さんのおかげで、主の恵みとチャレンジに満ちたコンベンションが開催できました。ありがとうございました(参加者アンケートは20ページです)。

法的環境整備進む！ ホームスクーラーを「いじめ問題から守る」ために

文科省の統計によると、昨年、不登校・登校拒否の子どもたちは30万人を超えました。いじめ・パワハラ等、不条理な人権問題に苦しむ子どもや大人も増え、国会・文科省は「不登校・いじめ対策緊急パッケージ」を打ち出しました。「超党派多様な学びを創る議員連盟」(参加者約80名)の総会で、チア・につぽんにも「いじめ・パワハラ問題」に関する発言の機会が与えられました。

チアに寄せられるいじめの相談件数も増えてい

ます。とてもセンシティブな問題です。実際に学校側との話し合いに何度か足を運ばせていただいたこともあります。学校側が姿勢を変え、最終的には解決に向かった事例や、情報提供を続け、解決(学校・教師側が謝罪し、ホームスクーリングを継続)に至った事例もあります。パワハラを起こしたクラブ指導者との話し合いもありました。

「超党派多様な学びを創る議員連盟」の総会では、寄せられた問題の事例から見える現代社会の課題、文科行政の問題点など具体的な提案をさせていただきます。

結論からお伝えすると、文科省の担当課長が私の提案した解決策の一つに心を留め、「ご指摘のあった、いじめ対策防止推進法に基づく『いじめの定義』についての周知の見直し・再検討を進めます」と、出席議員らを前に、異例の具体的な取り組みを約束してくださいました。私は神さまをたたえました。議連総会での提案内容は、巻頭言とは別ページに特別記事を掲載しています(14ページ)。



多様な教育を創る超党派議員連盟総会にてチアからの提案をする著者(4月11日)